

科学技術・学術審議会生命倫理・安全部会
特定胚等研究専門委員会運営規則（案）

平成13年11月27日制定
令和元年7月24日最終改訂
科学技術・学術審議会生命倫理・安全部会
特定胚等研究専門委員会

特定胚等研究専門委員会（以下「専門委員会」という。）は、以下のとおり運営する。

1. 会議及び会議資料の公開について

(1) 専門委員会の会議及び会議資料は、次に掲げる場合を除き、公開する。

①個別利害に直結する事項に係る案件

②審議の円滑な実施に影響が生ずるものとして、専門委員会において非公開とすることが適当であると認める案件

(2) 「ヒトES細胞の樹立に関する指針」に基づく樹立計画~~若しくは海外分配計画~~、「ヒトES細胞の~~分配及び使用に分配機関に~~に関する指針」に基づく設置計画~~若しくは海外分配計画~~又は「ヒトに関するクローン技術等の規制に関する法律」に基づく届出（以下「計画等」という。）に関する審査における会議資料のうち、研究計画書等については、知的財産権の保護、個人情報の保護又は審査の中立性等の観点から、専門委員会の委員及び説明者に限り配布するものとする。なお、「ヒトES細胞の~~分配及び使用に~~に関する指針」~~等~~に基づく使用計画に関する届出書についても、同様とする。

2. 議事録の公開について

専門委員会の議事録は、公開する。ただし、1. (1) ①及び②に掲げる場合に該当するときは、議事録に代えて議事概要とすることができる。

3. 審査の際に委員が退席すべき場合について

(1) 専門委員会の委員が、審査を行う計画等の関係者である場合には、審査の際に退席するものとする。

(2) 関係者の範囲については、次のとおりとし、その他疑義が生じたときは、専門委員会において審議するものとする。

①委員が研究実施者として計画等に記載されている場合

②委員が研究実施者と直接の上司又は部下の関係にある場合

③委員が研究実施者と同一の研究機関（注）に属する場合

（注）ただし、大学にあっては学部、附置研究所等の単位であること。

④委員が研究実施者と当該研究に関する共同研究を行っているなど密接な関係にある場合

⑤委員が届出等に係る機関の倫理審査委員会の委員である場合

⑥その他委員が研究実施者と利害関係にあると考えられる場合

4. 計画等の変更の審査について

（1）専門委員会において計画等の変更について審査を行う場合には、各委員に書面による審査を求めた後、全ての委員の同意を得たときに限り、主査の判断により、当該審査結果をもって専門委員会の結論とすることができる。ただし、委員の1名以上から求めがあったときは、会議を開催して審査を行う。

（2）書面による審査において委員より提出された意見及びこれに関する申請者の見解については、全ての委員に対して通知し、審査の参考とする。